

こんにちには **議会** です

曾於市議会だより

第52号

平成30年5月1日発行

弥五郎伝説の里の桜 (P24参照)

予 算

クローズアップ
新年度予算…………… 2
皆様のご意見を市政に
～議会報告会～を開催します…12

お知らせ

第2回 定例会予定

6月 8日 開会
6月 12日～14日 一般質問
6月 26日 閉会

クローズアップ

新年度 予算

消防設備整備事業

1億3,131万円

曾於消防署財部分署を新築するものです。



クリーンセンター施設整備事業

8億6,435万円

施設の長寿命化を図り安定したごみ処理を行います。



小学校施設整備事業

3,968万円

菅牟田小学校特別教室を改築するものです。



地域支援事業

2,274万円

地域包括支援センターを曾於市社会福祉協議会に委託するものです。



都市公園管理費

3,632万円

新地公園グラウンドゴルフ場駐車場用地の取得・整備が主なものです。



農業公社設立

2,434万円

農業公社設立支援業務委託料や運営負担金等各種事業を行なうためのものです。



平成30年度 予算のゆくえは

一般会計当初予算 231億3,400万円

☆市民サービスのために

21億1,714万円

議会費 1億9,260万円
総務費 19億2,454万円

☆くらしと安全のために

27億7,505万円

土木費 19億4,238万円
消防費 8億268万円
災害復旧費 2,999万円

☆豊かなくらしのために

42億7,911万円

農林水産業費 21億969万円
商工費 21億6,942万円

☆返済のために

31億9,591万円

公債費 31億9,591万円

☆文化と教養のために

14億4,833万円

教育費 14億4,833万円

☆備えのために

3,000万円

予備費 3,000万円

☆生きがいと健康のために

92億8,846万円

民生費 72億6,398万円
衛生費 20億2,448万円

会計名		30年度（当初予算）	29年度（当初予算）	増減 比率（%）
一般会計		231億3,400万円	221億8,600万円	4.3
特別会計	国民健康保険	54億8,629万円	69億3,863万円	▲20.9
	後期高齢者医療	5億7,628万円	5億6,767万円	1.5
	介護保険	54億8,447万円	54億5,282万円	0.6
	公共下水道事業	1億9,616万円	1億8,614万円	5.4
	生活排水処理事業	1億1,268万円	1億1,421万円	1.3
	笠木簡易水道事業	1,820万円	1,639万円	11.1
水道事業会計		8億9,253万円	8億4,772万円	5.3

第一回 定例会

- ・会 期 平成30年2月16日～3月23日（36日間）
- ・一般質問 10名の議員が登壇（詳細は13～23ページ）

広域農道災害復旧工事最終金額 1億7785万2200円に決定

(問) 国道10号線からの流入水が多いことが、起因して災害が発生したのでは。国土交通省に国道の排水対策を要望するよう。

(答) 国土交通省に国道10号線の排水が広域農道に流入しないように要望し、今後このような災害が起きないようにしたい。

全会一致
可決



平成29年度一般会計補正（第8号） 6億6,131万9千円の減額 （総額228億9,659万円）

今回の補正予算は、それぞれの事業の確定及び執行見込みによる精算的なものによる増減が主なものです。

全会一致
可決

予算審議 あれこれ

総務常任委員会

総務課・地域振興課・企画課・財政課・税務課・市民課・会計課・議会事務局・監査委員事務局・選挙管理委員会の所管に属する事項及び他の委員会に属さない事項を審査しました。

普通交付税の減額の影響

問 普通交付税が合併算定替えにより減額されるが、影響額は。

答 合併市町村に対する特例措置が、平成 27 年度に終了し、平成 28 年度から段階的に減額され、平成 30 年度は 2 億 6 千万円を想定している。

年度	影響額	平成 27 年度比
平成 28 年度	7300 万円	▲ 10%
平成 29 年度	1 億 8 千万円	▲ 30%
平成 30 年度	2 億 6 千万円	▲ 50%
平成 33 年度	5 億 2300 万円	▲ 100%

問 交付税が減額される中で、歳出を抑える工夫・施策が必要ではないか。

答 今回初めて各課に一般財源枠を設けて、優先順位を付けて予算編成を行った。

宅地分譲



問 宅地分譲事業の場所と区画数は。

答 場所は、大隅南地区農業構造改善センター隣で、約 6000㎡の土地を 12 区画分譲するものである。

問 市有地活用定住促進補助金は、これまで宅地分譲した土地が、5 年以上売れなかった場合が対象であったが、改善すべきでは。

答 今年度より取得価格の 10%、市外は上限 50 万円、市内は上限 30 万円を宅地分譲初年度から支給する。

定住促進対策事業



問 今回の新規事業の内容は。

答 独身男女の出会いをサポート（仲介）し、結婚支援を行う出会仲介人（婚活サポーター）を募集・認定して、結婚支援の活動やノウハウを獲得するための研修を行うもの。男女スキルアップのためのセミナー、マッチングパーティーを開催し支援を行う。

クリーンセンター改修工事



問 改修予定期間は。

答 本年 5 月～6 月にかけて 2 号炉の解体作業を始め、平成 32 年 3 月に完了予定である。

意見 改修工事を行って寿命が 15 年ほど伸びるが、今後のごみ処理の在り方を検討すべきである。

文教厚生常任委員会

保健課・福祉課・介護福祉課・保健福祉課・福祉事務所・教育委員会（総務課・学校教育課・社会教育課）の所管に属する事項を審査しました。

子ども・子育て支援の充実



問 放課後児童クラブの利用状況は。

答 この数年、利用者が急激に増えている。

問 利用定員数と運営施設は。

答 利用定数は801名の予定で認定こども園、保育園、地域の幼児学園、公民館等が運営している。

末吉地区体育施設管理費



問 末吉地区体育施設管理費の主なものは。

答 末吉総合体育館耐震診断委託料（昭和54年築）・新地公園グラウンドゴルフ場車庫及び休憩所新築工事（2棟）が主なものである。

問 駐車場用地取得分は入っているのか。

答 都市公園管理費に計上してある。

財部温泉健康センター



問 職員は指定管理の協定書どおりに配置されているのか。

答 協定書では従業員14名となっているが、正規職員7名、非正規職員6名で合わせて13名である。ハローワークに募集しているが応募がない。

意見 労働条件の改善等検討が必要である。

新しい介護予防・日常生活支援総合事業



問 予算増減の要因は。

答 これまで市が行っていた包括支援センターでの業務を、今年度から社会福祉協議会に委託するための委託費とグループホームの家賃助成が主なものである。介護サービスの大きな流れとして施設型からデイサービスを含む地域密着型に移行しつつあるため給付費が抑えられている。

建設経済常任委員会

農林振興課・商工観光課・畜産課・耕地課・産業振興課・建設課・水道課・建設水道課・農業委員会事務局の所管に属する事項を審査しました。

新地公園用地取得



問 新地公園用地取得費の駐車場整備は、グラウンドゴルフ場のものか。また、今後の事業計画は。

答 協会や利用者から駐車場が少ないとの声があり、今回取得することとなった。土地取得交渉を継続している区域を除き、今回で終わりである。

和牛日本一『鹿児島黒牛』



問 道の駅すえよしに設置する和牛日本一『鹿児島黒牛』PR事業の和牛像の費用対効果はあるのか。

答 県境である曾於市で、産地として肉用牛をPRするために県と協議した。平成30年10月に農業クラブ全国大会が鹿児島県で開催、平成32年度ホルスタイン全国大会が都城市で開催されるなど和牛日本一のPRにつながる。

農業公社設立に向けて



問 農業公社設立に向けての事業計画・収支計画が出来ていない状況なので、設立出資金ではなく設立準備補助金として予算計上すべきではないか。

答 JA・ナンチクと足並みを揃えるため今回の予算計上となった。畜産を中心に進める予定であったが、準備委員会で繁殖センターは初期投資が大きいため計画からはずし、受委託作業とコントラクター事業から始める。

意見 7月設立は時期尚早であり、事業内容や組織確立に時間をかけて慎重に進めるべきではないか。

道の駅たからべきらら館 屋外便所改修



問 屋外便所の建築年度は。

答 平成14年に建築されたが木材の傷みがひどく同じ場所に建て替えをするものである。

意見 きらら館の便所改修については、建築後15年しか経過しておらず、耐用年数25年を考慮して設計すべきである。

条例改正

「国民健康保険条例」一部改正

賛成少数
否決

改正内容

法改正に伴い、県内の国民健康保険の統一的な運営方針が定められ、県内市町村の葬祭費支給額を3万円から県内統一の2万円に引き下げる市国民健康保険条例の改正です。

問 なぜ1万円引き下げるのか。

答 県内市町村は1万円〜3万円の支給であり、その中で2万円支給が多かったため、2万円に統一した。

問 差額分の1万円は一般会計で対応すべきでは。

答 一般会計での対応も検討したが、一般会計は国民健康保険加入者だけではないため、その措置はとらなかつた。

意見 現行3万円の葬祭費の支給を続けながら今年6月議会までに、本市独自の支援策の検討があれば、スムーズな対応ができるのではないか。

「後期高齢医療に関する条例」一部改正

改正内容

法改正に伴い、住所地特例の規定を改正するもので、長期入院や入所等で住所変更した場合転入先の被保険者となっていたが、前の住所地の被保険者となるよう見直された改正です。

「地域福祉基金条例」一部改正

全会一致
可決

改正内容

『曾於市福祉基金』から『曾於市地域福祉基金』に名称を改め、預金利息の運用しかできなかったものを、取り崩し可能な基金とする改正です。

「介護保険条例」一部改正

賛成多数
可決

改正内容

第1号保険者（65歳以上）の保険料額を定める改正です。国の介護保険の制度改正を考えた場合、基金を投入しても、財源に不足を生じる可能性があるため、保険料の引き上げで財源の確保を行うことが必要であるためです。

条例改正

「メセナ住吉交流センター設置及び管理に関する条例」一部改正

改正内容

メセナ住吉交流センターの利用料等見直しの改正です。

問 利用区分を70歳に引き下げた経緯は。

答 財部・大隅の利用区分に統一した。

「末吉道の駅レストランの家賃引き上げの条例」一部改正

改正内容

施設増築のため

160,470円
↓
195,270円

に改める条例です。

問 昨年4月から面積が広がっている。条例を改訂しながら、家賃の引き上げが、29年度予算化されている。条例に基づかない予算は条例違反ではないか。

答 条例改正が、速やかに行われなかったことはお詫びし、今後このようなことのないよう努める。

全会一致
可決

全会一致
可決

「地域振興住宅条例」一部改正

改正内容

見帰団地（末吉）・中野団地（大隅）・泊ヶ山団地（財部）・片平団地（財部）に地域振興住宅を新設したための改正です。

問 地域振興住宅入居希望者の選定した地域と人口増対策の地域との兼ね合いはどうか。

答 入居者選考審査会で申込者の子ども数や地域性等の選考基準を基に審査し、入居優先順位を決定し、入居者を決定してる。

全会一致
可決

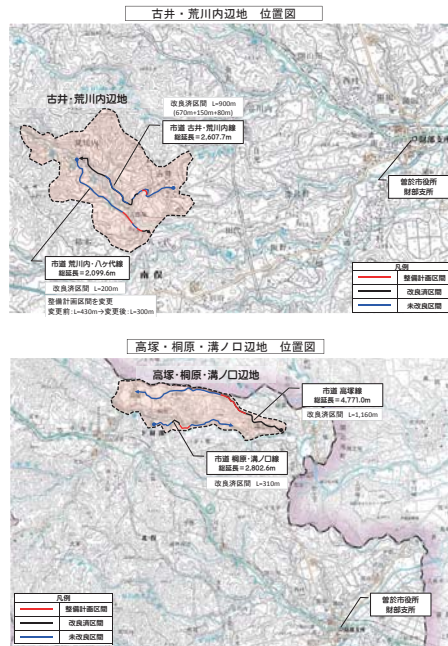
全会一致
可決

無償貸付

内容 旧財部北中学校を（有）サイバーウェーブに引き続き無償貸付するものである。たからべ森の学校は、（有）サイバーウェーブの運営する職業訓練校である。

意見 森の学校で職業訓練を受けても、曾於市に受け入れ先や住むところがないために近隣地へ移住したのは、もったいない。独身の方が市営住宅へ入れるような対策や民間の住宅を市が借り上げて貸し出す等改善すべき。

辺地に係る公共的施設 総合整備計画



付帯決議

現在、財部中央分団詰所の隣に曾於消防署財部分署を建設予定であるが、購入予定地の80²mが未購入である。このため中央分団員の駐車場が確保できていない。よって駐車場が確保できるまで財部分署建設工事費の執行を留保する決議を行う。

委員会 報告

各常任委員会では、付託となった議案について審査を行いました。
 ＊委員会付託とは・・・議会に提案された議案などの審査を担当の委員会へ依頼すること。
 委員会審査が終わると委員長は、本会議でその結果を報告し審査結果を参考に議決します。

総務常任委員会

行政改革推進委員の構成

行政改革推進委員の構成と
 審議内容は。

答 平成27年度に平成37年度までの10年間の第2次行政改革大綱を策定した。今年度は将来を見据えた効率的な組織再編や庁舎の改修、建て替え、規模等について検討する委員会を立ち上げた。メンバーは10名以内で1名は大学教授等、9名は市民の方を考えてる。

消防設備事業

減額の理由は。

答 防火水槽設置は今回5基分申請したが国の採択が2基分だけであった。

地域おこし協力隊の減少

なぜ地域おこし協力隊が7名から2名に減ったのか。

答 1名が他の大きな企業への転職、2名が体調不良、あとは個人的理由による。

生活排水処理事業

空き家等で休止になっていく件数は。

答 休止は現在49基である。

意見 全員協議会で、庁内検討による本庁・支所機能再編計画(案)が説明されたが突然の話でビックリした。市の現状と方向性を市民に情報を提供すべき。

文教厚生常任委員会

教育長と教育委員長の一本化（法改正に伴う一本化である）

問 新教育長の任期は。

答 今までの4年から3年の任期となる。

問 任命方法は。

答 首長が議会の同意を得て直接任命・罷免を行う。

学校給食費負担軽減補助

問 新規事業だが内容は。

答 給食費の3分の1を目安に、小・中学生に補助するもので、財源は思いやりふるさと基金を活用したい。

予防接種・健康診査・健康相談

問 事業への取り組み状況は。

答 市単独の10事業を含め47の事業を計画している。それぞれの事業は目標値を決めて取り組んでいるが、受診率を引き上げることが大きな課題である。

文化財整備

問 恒吉城跡については、未だに県・国指定がなされていない。どのような状況か。

答 現在、国の調査官が入り調査が行われている。今後国の指定を受けられるよう力を入れていきたい。

建設経済常任委員会

農地利用最適化交付金

問 交付金の内容は。

答 平成28年度農地法改正により、担い手農家等への農地集積、遊休農地の解消等の業務が必須となった。

廃プラ置き場造成

問 廃プラ置き場造成工事は。

答 クリーンセンター改修工事に伴い、有機センター敷地内に仮置き場を造成し、同センターの計量器で対応するものである。

市営住宅の使用料

問 使用料の滞納状況は。

答 滞納者は減少しているが、高額滞納は過年度分が多く不納欠損の対象者が多い。

水道事業の経営戦略策定業務

問 業務委託の内容は。

答 これからの水道事業経営戦略について策定するもので、使用料の改定時期など、平成31年度中に策定し、平成32年度実施する計画である。

笠木簡易水道事業

問 梅井地区と接続してあるが、水量に問題はないか。

答 将来を見据えての接続であり、平成32年度までは使用する予定はない。

平成 30 年度 議会報告会を開催します

あなたの声を聞かせてください

参加は自由です。どなたでもお気軽にお越しください。

市議会では、市民の皆さまに議会の活動を報告し、皆さまの声をお聞きし、今後の議会活動に活かすため、『議会報告会』を開催いたします。

☆開催日時 **平成 30 年 5 月 27 日（日）午後 1 時 30 分～3 時 00 分**

☆会場及び班構成

実施班	会場	班構成
1 班	大隅中央公民館	重久 昌樹 鈴木 栄一 岩水 豊 今鶴 治信 土屋 健一 渡辺 利治 原田 賢一郎
2 班	財部中央公民館	松ノ下 いずみ 上村 龍生 宮迫 勝 九日 克典 伊地知 厚仁 山田 義盛
3 班	末吉中央公民館	澁合 昌昭 大川内 富男 海野 隆平 久長 登良男 谷口 義則 迫 杉雄 徳峰 一成

☆内 容

- ◎ 3 月議会で決まった平成 30 年度予算や議会での対応状況を報告します。
- ◎ 市の政策や議会に対する意見・要望等を聞き、今後の議会活動に活かします。



当日市議会へのご質問等がございましたら別紙、質問書『あなたの声を聞かせてください』にて議会事務局まで提出いただきますようお願いいたします。

《問い合わせ先》 曾於市議会事務局

TEL 0986-76-8816 (直通) FAX 0986-76-8901

メール gikai@city.soo.lg.jp

曾於市ホームページ <http://www.city.soo.kagosima.jp/>

あなたの声を聞きかせてください！

記入日 平成30年5月 日

氏名		性別	男・女
住所	〒899- 曾於市 大隅町・財部町・末吉町 番地		
年齢	～10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代～		
ご質問・ご提言等			

受付締切 平成30年5月10日（木）まで

【注意事項】

- 当日ご持参いただいても結構ですが、ご質問内容によりお答えできない場合があります。
- 誹謗中傷、プライバシーの侵害、公序良俗に反する内容及び営利活動に関わるものは、受付いたしません。
- 匿名や住所・氏名の記載がないものについては回答いたしません。
- 議員個人へのご意見やご提言などは議会として回答いたしません。
- 記載していただいた氏名・住所等の個人情報については、お寄せいただいたご意見に対して回答する際に必要とするものであり、これ以外の目的利用はいたしません。

**【送付先】曾於市役所 本庁3階 議会事務局
(曾於市末吉町二之方 1980 番地) 電話 0986-76-8816**

※ FAX・メールでも受付いたします。

FAX 0986-76-8901

メール gikai@city.soo.lg.jp

一般質問
10名の議員登壇

市政を問う

一般質問とは議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。

上村 龍生 議員 P14

- ・大隅町アヤベ(株)九州工場火災事案について
- ・職員の安全管理について
- ・財政状況について
- ・高規格道路都城志布志道路橋野インターチェンジ設置について

海野 隆平 議員 P15

- ・民間ホテルの誘致について
- ・高原病院の移転問題と末吉中央公民館の対応について

久長 登良男 議員 P16

- ・消防行政について
- ・農業政策について
- ・財部駅周辺の開発について

伊地知 厚仁 議員 P17

- ・県営土地改良事業（シラス対策事業）竹山地区について
- ・定住促進事業について
- ・再造林の推進について
- ・農業公社設立について
- ・ヘルプカードの普及推進について

宮迫 勝 議員 P18

- ・環境対策について
- ・就学援助について
- ・職員、臨時職員等の待遇改善について

湊合 昌昭 議員 P19

- ・蔵之町地区廃ビニール洗浄施設について
- ・曾於市内地域外からの入学、転校について
- ・市営住宅の空き家について
- ・大隅町アヤベ(株)九州工場火災について

徳峰 一成 議員 P20

- ・なぜ、介護保険料値上げの提案か
- ・子牛の100万円以上の税申告について
- ・指定管理制度の改善を
- ・市民のなかで広がる貧困化の実態とその対策を

松ノ下 いずみ 議員 P21

- ・道路管理について
- ・河川管理について
- ・大川原キャンプ場周辺状況について

今鶴 治信 議員 P22

- ・定住・移住促進について
- ・農業公社について
- ・林業振興について

岩水 豊 議員 P23

- ・思いやりふるさと寄附金推進事業について
- ・岩川小学校改築の計画について
- ・桜ヶ丘市営住宅建て替えについて

大隅町アヤベ(株)九州工場火災支援策は

市長／会社再建・従業員雇用支援を行いたい



上村 龍生 議員

問 今後の会社の再建の方向性は。

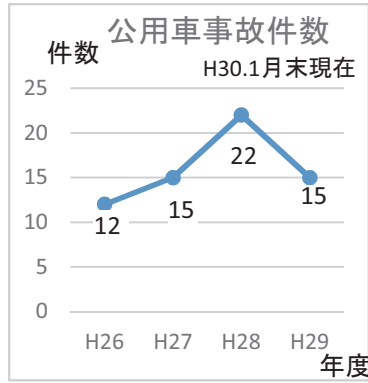
市長 市としては、現地に会社再建をしてほしいと伝えている。ただ、同社は再建について、現時点で再建の気持ちはあっても言える段階ではないとの回答であった。

問 市当局の、会社再建や元従業員雇用に関する支援策は。

市長 設備投資や従業員の雇用に関して、市の条例に基づき支援したい。

職員の安全管理・交通事故対策は

問 近年の公用車事故発生件数の推移は。



市長 ここ数年は増加傾向である。

問 今のところ軽微な事故内容であるが、この状況が続くと重大な事故発生に繋がりがかねない。発生件数減少対策は。

市長 全職員へ安全運転徹底の周知や、講話、リーフレットの配布等あらゆる手段を講じて、交通事故減少、根絶に向けての取り組みを実施する。

問 机上の対策だけでなく、全職員向け実技運転講習等の体験学習も必要ではないか。

総務課長 今後計画したい。

高規格道路橋野インターチェンジ設置は

問 地域住民から、高規格道路都城志布志道路橋野インターチェンジ設置により、都城、志布志への移動時間の短縮、これに伴い生活の利便性、人口減少の歯止め、救急医療、災害時の対応等様々な波及効果が期待できるとの観点から、インターチェンジ設置の陳情がなされたが、市長の認識は。

市長 地元から設置要望が市及び鹿児島県に出され、大隅地域振興局と協議を重ねてきた。市の多額の事業負担と期間を要することから、市民の理解が得られるかが課題と考える。



工事中の高規格道路橋野付近

政策の、善し悪しは今ではなく歴史が証明！

ちょっとひとりごと



海野 隆平 議員

高原病院の移転問題と末吉中央公民館の対応は

市長／末吉中央公民館の売却については総合的に判断しながら検討していきたい

問 医療拠点としての高原病院の位置づけは。

市長 街中心部にある高原病院は、市民の健康及び生命を守る大事な基幹病院である。

問 病院の新設と駐車場確保と併せて末吉中央公民館の土地取得に関する要望書については、どのように受け取ったか。

市長 末吉中央公民館は昭和37年建設で、耐震基準に満たないため、現地建替など含め公民館施設整備検討委員会で協議を行っている。土地建物評価額を算出するため、平成30年度当初予算案に評価額鑑定委託料を計上した。協力できるものは検討を進めていきたい。

問 中央公民館の敷地面積と、駐車場の面積は。

末吉中央公民館敷地面積	
敷地面積	2,992.13 m ²
末吉中央公民館駐車场面積	
併設する駐車場	850.00 m ²
第2駐車場	1,176.77 m ²
合計	2,026.77 m ²



末吉中央公民館

問 中央公民館の移転先については。

市長 売却方向で代替地を検討している。総合的に判断したい。

民間ホテルの誘致は

問 資金調達、建設計画を含めナガヤマとの話しは、どこまで進んでいるのか。具体性はあるのか。

市長 代表取締役永山弘人氏から以前提案があった「ホテルそお」の事業計画書を、再度検討してもらい、自己資金と金融機関からの融資、民間企業からの支援など協議中である。

問 ナガヤマ以外のビジネスホテルを誘致する目途はあるのか。

市長 神奈川県横浜市のアフマネージメントコンサルに依頼している。屋久島町出身の会社経営者であり、ホテル経営の実績もある。本市のホテル建設について協力をお願いしている。じっくりと進めていきたい。

高原病院の移転については5年前から話しがあった。

ちょっと
ひとりごと

大隅曾於地区消防組合財部分署新築場所は

市長／財部中央分団詰所に隣接する買収地に建築する計画である



久長 登良男 議員

問 建築の用途はいつか。

市長 平成30年度に実施設計と地質調査をし、10月から本体工事に着工、来年3月に完成予定である。

問 計画予定地は、交差点、通学路及び駐車場等を考えたときに問題だと思いが。

市長 他の地域でも交差点近くに建築されている所もある。また駐車場についても問題はないと思われる。



現在の財部分署



計画予定地

問 財部中央分団員の駐車場について問題はないか。

市長 問題はないと思う。

圃場整備の現状は

問 今後取り組みを希望されている地区は。

市長 14団地が整備を希望、5団地が取り組みを検討中である。

問 この他に区画整備及び圃場整備が必要な地域はないか。

市長 整備を必要とする地域がある。

財部駅周辺の開発は

問 財部駅周辺の開発は。

市長 財部駅を活かし、地元食材を活用した居酒屋などが入った屋台村を、今年度設置する商店街活性化検討委員会で協議を進めていく考えである。

問 空き家が多く街の機能がなされていない。認識されているか。

市長 財部駅周辺から県道2号線と市役所財部支所一帯は、空き家が多い状態と認識している。

問 曾於市都市計画マスタープランの取り組みは。

市長 都市計画マスタープランは、20年後のまちづくりの方針であり、市民の意見を反映させるためにアンケート調査を実施する。



財部駅の全景

人口増対策は
まちの開発が急務だ

ちよつと
ひとりごと



伊地知 厚仁 議員

農業公社の進捗は

市長／大枠で合意している

問 農業公社設立でのJ A・ナンチク・市の役割は。

市長 運営形態、設立時期、出資金の割合、事務所的位置、予算措置について合意している。当初は農作業受委託作業と農作業サポート支援、自社直営事業を計画している。



受委託作業中

県宮土地改良事業（シラス対策事業）の現状は

問 竹山地区シラス対策事業での排水は。

市長 降水量1時間あたり66mm、毎秒15tで計画し、暗渠部分は90cmから150cmへ変更するので対応できる。

問 排水は月野川へ流すが月野川の対策は。

市長 管理者である、鹿児島県へ現状の説明や河川改修等についても、陳情・要望等をしている。

定住促進事業に関する支援は

問 定住促進事業での分譲、支援事業は。

市長 今回2地区を宅地分譲する。今後も用地の取得や、分譲地建設の要望があれば検討する。支援は住宅政策と保護者負担軽減など、子育て支援の充実と新規就農や、企業誘致、雇用対策など支援に努める。

再造林の推進の状況

問 再造林の状況は。

市長 森林の伐採面積が年々増えている。平成28年度は400haを越えている。再造林は進まず、関係者も限界であるが今後も協議を進め再造林を支援していく。

問 災害時の流木対策は。

市長 流木対策は残さ流出防止や地ごしらえを関係者に推進していく。

ヘルプカードの普及推進

問 ヘルプカードの普及推進の状況は。

市長 広域的な取り組みが大切で、県と協議して導入に向けて検討する。



ヘルプカード

※ヘルプカードとは、『障がいのある、手助けを必要とする人』と『手助けをする方』をつなぐための意思表示カードです。

曾於市の農業を守る事業でありたい。

ちょっとひとりごと

景観と安全・安心を守れ

市長／県と立入り調査・指導している



宮迫 勝 議員

問 末吉道の駅近くに、農機具等がうず高く積みまれている場所がある。市民から「道路に崩れてこないか心配だ」という声が上がっている。景観や市民の安全・安心を守る条例等は完備しているのか。

市長 景観等を規制する条例等はないが、環境基本条例をもとに、関係機関と連携して立入り調査・指導を行っている。



崩れてこないか心配な農機具

問 塀の中でしっかりと管理するように指導すべきではないか。

市長 頑丈な塀を設置して、塀の高さを超えて積まないように指導をしている。

問 太陽光パネルの設置で苦情等はないか。

市長 これまでに6件ほど苦情が寄せられている。県全体で規制強化できるよう、県に提案していきたい。

臨時職員等の待遇改善

問 臨時職員の人数は。

市長 臨時職員136名、非常勤職員78名、合計214名である。

問 臨時・非常勤職員の賃金・報酬引き上げを望む声があるが。

市長 臨時職員は日額単価で平成28年度1000円、平成29年度は2000円引き上げた。今後も随時検討したい。非常勤職

員は平成30年度に、5職種について引き上げる予定である。

問 臨時職員の待遇に關する国の法律が改正されたが。

市長 平成32年度より会計年度任用職員制度になり、期末手当や退職手当の支給が可能になる。これには条例改正が必要となる。

就学援助

問 就学援助で入学準備金の支給状況は。

教育長 中学校の新入生は2月に支給する。小学校の新入生については、クリアすべき課題があり、入学前支給の決定に至っていない。

問 手続きの中で民生委員の意見を求める項目があるが、必要か。

教育長 努力義務であり強制ではない。

強制力のある条例が必要です。

ちよつと
ひとりごと



刈合 昌昭 議員

蔵之町地区廃ビニール施設の現状は

市長／撤去の交渉を重ねていく



放置されている廃ビニール

問 蔵之町地区に廃ビニールの問題から早々3年。現在までの現状は。

市長 昨年3月議会で一般質問を受けて市民課では7月に社長と面談を行った。今後の計画と撤去については、まだ計画書等は提出されていない。

問 今後行政としての取り組み及び内容は。

市長 事業者の財産である以上、行政として限界があり引き続き粘り強く撤去の交渉を重ねていく。

築年数の古い市営・市有住宅の状況は

問 人口減少対策に古い市営・市有住宅を撤去して有効活用への考えは。

市長 耐用年限が木造住宅の場合30年、準耐火構造は45年以上の空き家について、用途廃止した住宅は解体撤去し、更地にして財政課へ所管替えしたうえで宅地分譲等を検討していく。

大隅町アヤベ(株)九州工場火災後の現状は

問 昨年末テレビ・新聞等で報道されたアヤベ(株)九州工場火災についてその後の現状は。

市長 撤去等の見積もりが終わっていないため、現場にそのままの状態である。

問 従業員がパートを含め80名近くが働いていたが、その後の現状は。

市長 従業員の2月以降給料等は火災前の待遇が保障され、解雇された従業員の給料等は会社規定により1月分まで支払われている。



再建が望まれるアヤベ工場

通学区域外からの入学、転校の現状は

問 大規模校から小規模校への転入学の現状は。

教育長 現在、特認校制度を導入している小規模校は、高岡小・中谷小学校である。

問 通学区域の基準は。

教育長 通学区域に関する規則では番地ではなく、集落単位に設定している。

アヤベ九州工場で働いていた皆さん1日も早い元の生活になりますように

ちょっとひとりごと

なぜ、介護保険料値上げの提案

市長／保険料に不足が生じるためである



徳峰 一成 議員

問 介護保険料の値上げが議会に提案されている。なぜ、値上げが必要か。

市長 利用者増や人件費の引き上げなどで、保険料に不足が生じたためである。

問 これまで介護保険の歳出は増えていない。一方歳入は、子牛の高値などで保険料収入が増えている。現状で値上げは必要なく、賛成できない。

子牛の高値などで
3月市議会は収入増の補正予算

	補正予算(収入)
介護保険料	2,060万2千円
国民健康保険税	5,855万8千円
後期高齢者保険料	1,967万6千円

市長 曾於市の保険料は県内では下位である。今回の引き上げの条例改正にご理解を得たい。

子牛の100万円以上の税申告

問 一頭100万円を超える農家が増えており、確定申告が必要なため農家に戸惑いがみられる。市はこれらの農家に、早めの通知と、ていねいな援助が必要ではないか。

市長 昨年は、100万円を超えた農家は283戸で445頭であった。今後通知を出し、対応していく。

指定管理制度の改善を

問 合併後、市のおもな施設の管理が指定管理制度に変わった。ただ入札選考基準が統一されていない、あるいは協定書の

締結が遅いなど改善すべき点があるのではないかと。

市長 指摘された点は、参考にして改善したい。

市民のなかに広がる貧困化とその対策を

問 高齢者の多くがわずかな年金収入であるなど、市民のなかで貧困化と格差が広がっている。様々な角度から、今後取り組みが必要ではないか。副収入を増やすことなど市の対策は。

市長 今後検討していく。



道の駅の商品 (高齢者の副収入)

介護保険料の値上げはしない、取り組みと努力を!!

ちょっと
ひとりごと



松ノ下 いずみ 議員

大川原キャンプ場周辺の維持管理は

市長／今後安全性を含め管理していく

問 山中のテント・遊歩道・滝下公園の対策は。

市長 平成22年の災害により崩壊した。今後、安全柵を設置しての整備か、全体的な整備か検討していく。

問 桐原の滝遊歩道の防護柵が壊れているが、現状を把握されているのか。



早期改修が望まれる防護柵



狭くて草が繁る県道

道路管理

市長 対策会議を開き、管理のあり方を考える。指定管理者からの情報も積極的に取り入れていく。

問 ホームページが未更新のままだが。

市長 周回道路の整備も含めて検討していく。

なっている。

市長 平成30年度に桐原の滝の下流から自治会周辺まで除去が実施予定となっている。

問 溝ノ口川の桐原自治会周辺の寄り州除去の対策は。

河川管理

市長 危険で草払いが必要な箇所があれば、連絡いただければ対応していく。

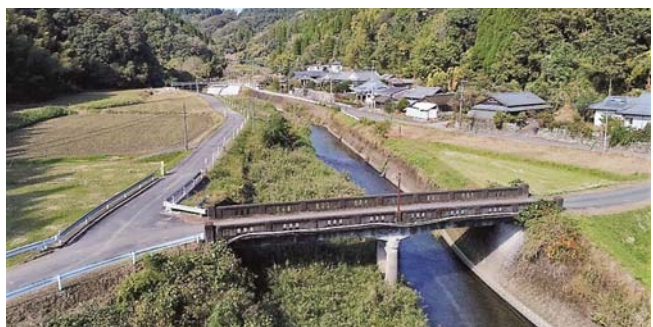
問 県道491号大川原・小村線の草払いの今後の対策は。

市長 県警本部に速度規制の申請を行っている。市としても対策を講じていく。

問 財部十文字自治会内市道における今後の交通安全対策は。

曾於の財（宝）が埋もれている

ちょっとひとりと



早期除去が望まれる溝ノ口川

市民の転出・転入者数

年度	転出	転入	増減
H24	1,347	1,297	▲ 50
H25	1,377	1,193	▲ 184
H26	1,314	1,272	▲ 42
H27	1,396	1,164	▲ 232
H28	1,282	969	▲ 313

問 過去5年間の曾於市外への市民の転出と市内への転入の人数は。

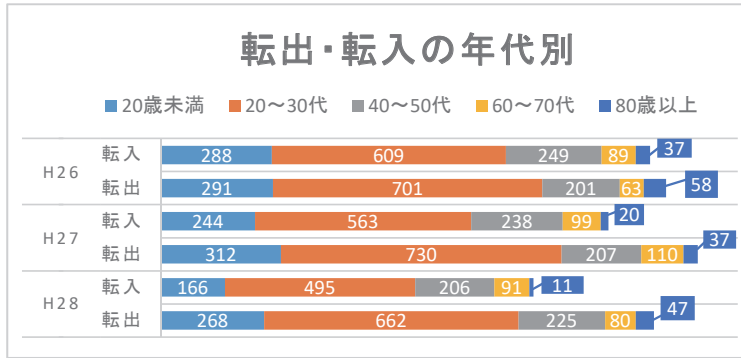


今鶴 治信 議員

定住・移住促進対策は

市長／今後は地域振興住宅にかわる宅地造成事業に取り組んでいく

問 過去3年間の転出・転入の年代別は。



問 維持費はいくらか。

市長 事業内容は、当初、耕種部門の農作業受委託作業を考えている。公社設立後、国の補助事業を活用して、コントラクター事業の機械整備を、粗飼料の生産と販売、受委託に取り組む。

問 公社の事業内容と設置場所は。

農業公社事業

問 具体的な定住促進対策は。

市長 平成29年度は末吉の堂園地区と大隅の坂元地区にそれぞれ7区画宅地造成する。平成30年度は大隅南地区に12区画造成する予定である。

山林の伐採・植林面積

年度	H25	H26	H27	H28
伐採面積(ha)	177.8	316.1	322.5	403.9
植林面積(ha)	124.2	97.1	114.1	133.4
再造林率(%)	69.9	30.7	35.4	33

問 過去4年間の伐採面積と植林面積は。

林業振興事業

市長 農業公社の経費は、6400万円で事業収入を引くと約1600万円の不足を生じる見込みである。

問 現在、植林のあと3年間の下払いの補助を5年間にする考えはないか。

市長 今のところ考えていない。

今、真剣に再造林に取り組まないと環境破壊の危惧

ちょっとひとりごと



岩水 豊 議員

ふるさと納税の経費は

市長／返礼品及び事務経費を合わせると
7億5千6百万円である

ふるさと納税額及び経費

寄付額	10億 5千万円
経費	7億 5千6百万円
差引	2億 9千万円

市民による他市町村への
ふるさと納税額 1千万円

実質額 2億 8千万円



ふるさと納税のパンフレット

問 寄付金に係る経費と実質活用できる額は。また、他市町村への寄付額は。

市長 活用できる額は、約2億9千万円になる。

問 寄付金額だけでなく、経費が7億5千6百万円かかり2億8千万円が、実質活用できることを、説明すべきでは。

市長 市政説明会などで報告する。

岩川小の改築計画は

問 新年度の予算に計上されていないが、岩川高校跡の譲渡時期、条件は。

教育長 県との譲渡契約ができていないので、見送った。4月に無償譲渡契約の予定。公共施設として活用が条件である。

問 4月に契約するのであれば、当初予算に計上すべきでは。

市長 6月議会に補正予算で提案したい。

問 17億円以上の大型事業である。補正予算ではなく、当初予算に入れるべきでは。

市長 補正予算で対応したい。

桜ヶ丘団地の建て替えは

問 入居者の希望どおり現地建て替えか。今後の計画は。

市長 現地建て替えで。平成31年度着工、平成32年度完成予定で、4〜5階建て（40戸）と木造2階建て2棟（20戸）を予定。できるだけ転居回数を1回にする。指摘のとおり、入居者に再三の計画見直しで、迷惑をおかけした。

ふるさと納税の全額は
活用できない

ちょっと
ひとりごと



老朽化した市営住宅



曾於市へようこそ



～市内の地域振興住宅にお住まいのご家族を紹介します～

藤田さん一家は、今年4月に志布志市から月野の振興住宅に入居されました。

真一さんは、月野出身で仕事も曾於市内の建設会社に勤務されています。子どもさんが生まれたのを期に自身が育った月野で子育てをしたいとの思いで、友人より振興住宅の事を聞き申し込みをされました。希望が叶い嬉しいとのこと。

現在月野消防分団に入団され、弥五郎太鼓も活躍されています。「これからも地域活動に協力し地域を盛り上げていきたい」と話されました。(伊地知)



藤田 ^{しんいち}真一さん (30歳)
^{ななみ}奈波さん
^{かりん}香凛ちゃん (1歳)

曾於市議会だより

発行／編集 鹿児島県曾於市議会
〒899-8669
鹿児島県曾於市末吉町二丁目1番1号

表紙によせて



3月24日から4月8日の間、弥五郎伝説の里で桜まつりが開催されました。今年の桜は、観測史上2番目に早い開花となり、約2千本の桜が訪れた人の目を楽しませてくれました。4月1日には、ステージイベントも開催され、弥五郎太鼓・保育園児のゆうぎ・抽選会等多くの人で賑わいました。これからアジサイも見頃になります。是非、足を運んでみてください。(重久)

編集後記

平昌冬季オリンピック・パラリンピックにおいて日本代表選手の大活躍に多くの国民が、感動と勇気を与えてもらいました。

羽生結弦選手の66年ぶりにフィギュアスケート2大会連続金メダル獲得等、史上最多13個のメダル獲得、パラリンピックでも10個のメダル獲得、それぞれの選手が、怪我や挫折を乗り越え競技に打ち込む姿に日本中が、感動の渦で盛り上がりました。

2年後は、東京オリンピックの開催、そして鹿児島国体も開催されます。ぜひ曾於市からも活躍される選手がたくさん出ることを期待しています。

今年、進学・新社会人になられる皆さん、自分の夢に向かって、困難を乗り越え頑張ってください。(今鶴)

私たちが作っています

いろんなご意見を
お聞かせ下さい。



議会広報等調査 特別委員会

- 委員長 岩水 豊
- 副委員長 松下 いずみ
- 委員 重久 昌樹
- 委員 鈴木 栄一
- 委員 今鶴 治信
- 委員 伊地知厚仁

発行責任者
議長 原田賢一郎

TEL 0986-76-8816
FAX 0986-76-8901
Eメール gikai@city.soo.lg.jp